



平成 27 年 5 月 29 日(金)
練馬区立開進第四小学校
校長 佐々木 秀之

開四小だより

6月号

開校 60 周年によせて

校長 佐々木 秀之

そろそろ海や山が恋しい季節となり、太陽の光は夏を思わせるように照り付ける中、子供たちは休み時間に校庭で元気いっぱい遊んでいます。

さて、本校は 6 月 20 日（土）に開校 60 周年記念式典・祝賀会を挙行いたします。それに先立ち、13 日（土）には開校 60 周年記念集会を実施します。

本校は、昭和 28 年、開進第三小学校の児童が増えたため、地域の方々に土地を提供していただき、分校として始まり、昭和 30 年 4 月 6 日、開進第四小学校として独立・開校しました。

4 月に赴任して 2 ヶ月余、本校の歴史について記念誌や写真をはじめ、様々な資料をひも解いてみました。開校当時は、どこから学校でどこから畑か、境もはっきりせず、畑の中にぽつんとクリーム色の木造の校舎があり、水道もなく、井戸も一つしかないため並んで水を飲んでいました。校庭は雨が降るとすごいぬかるみになっていたこと。開校直後、講堂が P T A の皆様によって建てられたこと。何十本と植えられている桜は、地域の方々が植えてくださったものであること。昭和 58 年に氷川台駅と新桜台駅ができてからは、畑が多かったこの地域に、多くの方が住むようになったこと。古い開四小の面影を残す和室は、平成になってから、地域の方々の協力をいただき、全面改修を行ったことなど。

60 年余の歴史をひも解き、常に出てきた言葉は「地域」という言葉でした。子供たちが主役である学校の環境を常によりよくしようという保護者、地域の方々の熱い思いに支えられ、歴史と伝統を創り上げてきたことに深く感じ入りました。そして、未来を生きる開四小の子供たちへの熱い思いを託されているように感じ、身の引き締まる思いです。

この開四小の地に通った児童、保護者の皆様、地域の皆様、そして教職員は、見えない一本の糸で必ず繋がっています。この 60 周年を皆様方とともに心からお祝いできることに感謝し、本校の歴史と伝統を味わいながら、未来に繋ぐ素晴らしい機会にしていきたいと思ひます。



昭和 30 年 開校当時



昭和 35 年 開校 5 周年



昭和 50 年 開校 20 周年